

## 神戸市内でカバマダラ発生 立岩 幸雄

神戸市西区で多数のカバマダラを目撃したので報告する。

目撃したのは2002年10月6日である。筆者の知人から1週間前の9月末に今回の目撃地から南西約3km離れた地点で2頭の吸蜜個体を目撃、そして1週間後の10月5日に今回の場所で多数の個体を確認したとの情報が寄せられたため、翌6日の早朝より当地を訪ねた。

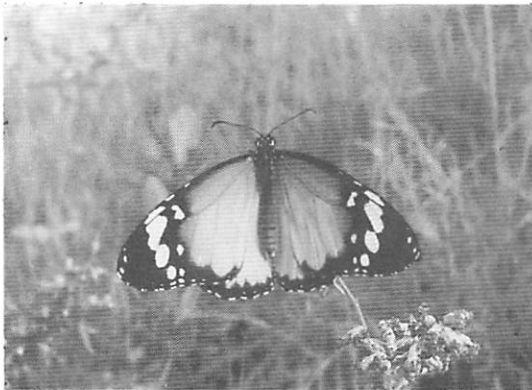
当地の概要は人工池堤防の外側の乗り面(草原)と、それに接する農地である。現地に着いたのが午前9時前であったため下草は朝露に濡れていて飛翔している個体はいなかった。草原を歩くと驚いて飛び立つ個体が多かったが、充分活動できるまで体温が上がっていないのか、すぐに舞い降りるばかりであった。曇りとぎれ日が差し始めると開翅することが多くなり、午前10時近くになると気温も上昇、しかも風が出てきたため活発に活動をはじめ、追尾飛翔も盛んに行うようになった。

特に多数の個体が群れていたのは農地であり、その一角にトウワタがまとまって植えられている周辺であった。今回の発生はこのトウワタを食草として使われた可能性が高いと考えられる。吸蜜、求愛、産卵の各行動を目撃した。産卵は一卵づつ若い葉の裏に行われ、一卵の産卵に要する時間は約10秒であった。

当日、目撃した個体数は40~50頭である。これほどまとまった個体数が発生しているということは何ヶ月か前に母蝶が当地に飛来し、ここに運良く食草であるトウワタがあったため累を重ねて発生することができたのではないかと想像できる。

翌週の10月12日再び当地を訪れ調査したところ、トウワタから2齢から前蛹直前の終齢幼虫、羽化後の蛹の抜け殻、交尾個体等さまざまなステージを確認した。また幼虫も10頭程度なら簡単に見つかるほど生息密度は高く、当地では発生して数世代を経ていることは明らかであった。

(TATEIWA YUKIO 加古川市加古川町西河原97-7  
サンロイヤル加古川リバーヂュII-713)



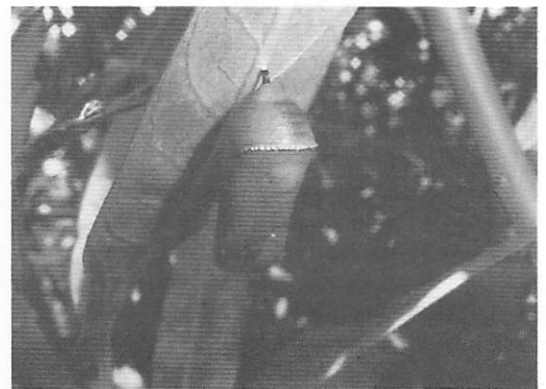
静止する成虫



終齢幼虫



トウワタに産み付けられた卵



蛹



吸蜜中の成虫

### モンキアゲハの初飛来

矢田 敦子

昨年9月末、庭のミカンの木にモンキアゲハがはじめて飛来し産卵をした。2令幼虫の時に採取して飼育したところ、10月9日に3令、10月13日に4令、10月20日に5令、11月1日に前蛹、11月4日に蛹になり、その後は戸外で越冬し、今年5月5日に羽化した(♂)。これで庭のミカンの木には、毎年産卵していくアゲハ、クロアゲハ、ナガサキアゲハにモンキアゲハが加わり、4種類の蝶が飛来したことになった。

モンキアゲハは林や里山の辺を飛ぶものと思っていただけに、今年も産卵してくれる事を大いに期待したが、9月末になっても幼虫は見つからない。やはり一度きりの偶然だったのだろうか。

(YADA ATSUKO 加古川市平岡町新在家2159-16)

### 白色化コオロギの発見

矢田 敦子

8月23日、庭の雑草の中に頭から羽まで全身乳白色のコオロギの成虫を見つけた。白色化した昆虫を見たのは初めてなので驚き、感動した。

このように突然変異で目に付きやすくなった生物は天敵に狙われやすいのだろうか、それとも逆に敬遠されて生き延びるのだろうかと考えさせられてしまった。

(YADA ATSUKO 加古川市平岡町新在家2159-16)

### 児童公園の砂場にハナダカバチが発生 山口 福男

2002年6月、神戸市西部公園事務所から蜂の処分について相談を受け、22日に現地調査したところ、ハナダカバチ *Bembix niponica* F.Smith であった。場所は、神戸市須磨区離宮前町の児童公園の約24平方メートルの小さな砂場であった。目まぐるしく地表を飛び交うハチは個体数が多いように見えたが、捕虫網ですくい取ってみると5匹(すべて雄)だけであった。事務所の職員には危険性のないことを報告しておいたが、蜂の仲間であることだけで住民の理解を得ることができず駆除処分されてしまった。

ハナダカバチの生態については、岩田久仁雄氏によって詳しく報告されているが、これによると本種は分布は広いが、どこにでもいる普通種でなく、巣を作るにはかなりの深さに堆積した砂地が必要とされている。岩田氏はこのような場所は開発により消滅しやすく、本種が都市近郊で生き残れるのはかなり難しいのではと危惧されていた。しかし、ハナダカバチは岩田氏が心配されたほどに繊細な種ではなく、大都会の住宅地であっても条件が整えば増殖できるしたたかさをもっている種のように思える。

(YAMAGUCHI FUKUO)

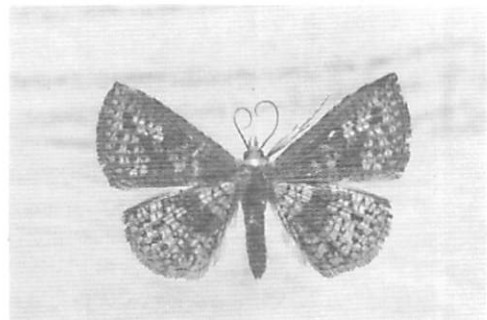
神戸市須磨区神ノ谷3丁目6-4)

### 芦屋市で記録した注目すべき蛾

西 隆広

古い記録を含むが、兵庫県芦屋市以内で記録した注目すべき蛾を報告する。報告で示した兵庫県での記録は本会の高島昭氏による。

クロモンウスチャヒメジャク *Anisodes absconditaria* 兵庫県では南淡町での記録がある。芦屋市での記録は次の1例である。



クロモンウスチャヒメジャク